

健康で明るい豊かな町づくり

昭和55年



発行所
西原町役場
西原町字嘉手刈112番地
電話 (09894) 5-4533
印刷
印刷センター 大 永
電話 (0988) 67-5111~3

町の世帯・人口
(昭和54年11月末日現在)
世帯数 3,809世帯
人口 15,876人
男 8,079人
女 7,797人
11月の人口移動
出生 20人 死亡 2人
転入 80人 転出 79人
婚姻 7件 離婚 1件

年頭のあいさつ

住みよい生活環境を確保

町 長 宮 平 吉 太 郎



明けましておめでとうございます。

希望にみちた昭和五五年の新春を迎えるにあたり、町民皆さまのご健康を祈り、平素から町政に対するご理解とご支援に対し心から感謝を申し上げます。

顧みると激動の七十年代の幕を

閉じ、八十年代を向えた今日移り変わる歴史は貴重な記録として永久に残ることでありましょう。

昨年、町民希望の中央公民館並びに社会福祉センターの建設を始め、県内八番目の町制を施行し、本町にとりましては、一大飛躍発展の年でありました。

見地から農業基盤の整備に全力を傾注いたす所存でございます。

とくに現今、町民の間に健康と体力を身につけようとする気運が高まりつつあり町としても立派な町づくりを推進してまいりたいと存じます。

さて、五五年の政府予算も決定

した次第であります。

まづ議会とも切磋琢磨して、住みよい生活環境を確保し町全域に亘って調和のとれた開発の促進と幹線道路の建設等道路整備五年計画に基づいて部落道整備を完全に行記念事業としての総合運動公園の建設、過密校解消のための分離校の建設として農業近代化を図る

この健康づくりには何んと申しましたも運動することでありまして、運動することには又施設の必要が急務となっております。

私は豊かで明るい町発展を築くためにその実現に向けて頑張る覚悟であります。

また、去る一年を振り返ってみますと、対外的にはエネルギー問題を主軸に、激しく揺れ動いた年でありましたが、とりわけ、私ども西原町にとりましては、昨年四月一日から町制を施行し、それと同時に中央公民館、社会福祉センターの完成など、新生西原町の出発に相応しい画期的な年でありました。

このように昨年は、本町におきましては、町制施行に伴う新しい町づくりの基盤整備に重点を置いて努力して参りましたが、新しい昭和五五年は、それらの計画の

中央公民館や社会福祉センターを建設して参りました。また、生活環境の整備事業の一環として、昨年度から部落道整備五年計画を進めており、更に町民の健康維持増進を図るため、町制施行記念事業として総合運動公園の設置を計画しております。

さて、去る一年を振り返って

隣接し、その上、当該都市に連結する道路網の整備等によって、とくに復帰前後から住宅団地や公共施設の開発が盛んになり、それに伴って人口も急速な勢いで伸びて参りました。

西原小学校の児童生徒の増加による過密校の解消を図るため、現在教育委員会において分離校設置の計画を進めている段階であります。

新しい町づくりの基盤整備を具体化

町議会議長 親 泊 輝 武



年頭にあたり、謹んで新春のあいさつを申し上げます。

今年、例年になく暖かい陽気で正月を迎えることができましたが、町民各位におかれても、思いも新たに迎えになったことと存

ご承知のように、本町は地理的に那覇市や浦添市、宜野湾市に

町として昨年は、本町におきましては、町制施行に伴う新しい町づくりの基盤整備に重点を置いて努力して参りましたが、新しい昭和五五年は、それらの計画の

町として昨年は、本町におきましては、町制施行に伴う新しい町づくりの基盤整備に重点を置いて努力して参りましたが、新しい昭和五五年は、それらの計画の

三番目の小学校を設置

町教育委員長 仲 宗 根 英 輝



明けましておめでとうございます。

皆様も若い年を迎えられた事と思います。

新年にあたり教育委員会に關することを一言申し上げてみたいと思います。

昨年は町制施行という市町村としての歴史的な事業がありました。それと時を同じくして公民館も完成しました。

公民館では図画、生花、料理、話方、書道、和裁という六つの講座と、レクリエーション、コーラス、卓球、ヨガ、幼児教育等のサークル活動もあります。

具体化に向けて努力する年でありました住民の付託を受けた議会として、これらの事業推進にあたっては執行機関と相提携し、議会活動を通して専心努力して参りたい所存であります。

むろん、これらの事業推進にあたっては、町政に対する町民各位のご理解とご協力がなにより肝要かと存じます。

町民各位におかれては、今後とも町民相互の融和と団結を図り、豊かで住みよい町づくりに一段とご協力いただき、あわせて躍進する西原町の実現を期待してやみません。

最後に、新春を迎えるにあたり町民各位のご多幸と本町の限りない発展を祈念して、ごあいさつといたします。

第一回西原町マラソン大会

一、日 時 昭和五五年一月二十七日(日) 午前九時

二、参加資格 西原中学校ランド集合

三、参加資格 町民、町内に職場を有する者、町内の学校に在学する者。

四、種 目 十キロメートル(一段男子、高校男子)

五、五キロメートル(四十才以上)

六、三キロメートル(中学生男女、高校女子、一般女子)

七、参加申し込み 一月二十二日(火)まで(町役場内)

八、主 催 西原町体育協会

翁長 文化遺産継承で期成会結成 見事な獅子完成

字翁長（仲宗根信政区長）では、獅子頭が白アリの被害を受け、旧暦八月十五日の夜に行なわれる部落の有志達によって提供。胴体になる芭蕉糸はわざわざ大宜味村喜如嘉から購入、これに紺、赤、黄、茶、緑の染料で染め上げられ、鮮やかだ。製作費は総額で八十万円。

獅子の製作に当たったのは字小波津一九一番地の小波津正雄さん（六八）で九月二十九日からとり



新 完 成 し た 翁 長 の 獅 子

部 落 に は 獅 子 舞 の 継 承 者 が 四 名 居 る が 新 た に 二 十 五 歳 から 三 十 歳 ま で の 青 年 五 名 が そ の 練 習 に 取 り 組 み 後 継 者 作 り も 順 調 で あ る。

今 回 の 獅 子 の 完 成 は 部 落 の 文 化 遺 産 を 継 承 し 保 存 し て い く 意 味 で 意 義 深 い。

ま た、白 ア リ の 被 害 を 受 け た 獅 子 は 中 央 公 民 館 民 俗 資 料 室 に 贈 呈 さ れ 展 示 さ れ る こ と に な っ た。

幼児の戦傷者にも補償を 傷害者の会結成大会開く

戦後処理はいまだに終わらない。戦争当時、六歳以下だった幼児の戦傷者にも援護法（戦傷病者戦没者遺族等援護法）を適用し救済措置をと訴える人々

が十二月四日午後五時から本町の社会福祉センターで「沖繩戦傷病者戦没者遺族等援護法」を適用し救済措置をと訴える人々

大会では①六歳以下沖繩戦災四六二番地、新川トミ子さん（三八）宅に置かれる。

＝町婦人会＝ 30周年記念大会終る

敗戦直後の最も混乱した戦時中、昭和二十三年、仲宗根カネ会長で発足した町婦人会では、三十周年記念誌「婦人会のあゆみ」の編集に取り組んでいたが十二月十六日にその記念誌が発刊された。同時に町婦人会三十周年記念大会が十六日午後一時、中央公民館で会員及び来賓合せて約六百名を集め盛大に行なわれた。

まずはじめに大城静子会長のあいさつ、婦人会の経過報告（玉那覇恭子副会長）、歴代会長十四名と歴代社会教育主事六名の表彰、大城現会長の表彰（町教育委員会小川正元教育長から）が行なわれた。その後、宮平町長、親泊議長、仲宗根教育委員長、小川教育長、宮里県婦人連合会長などから来賓祝辞を受けた。記念式典が終って休けいをはさんで午後三時から祝賀パーティーが開かれ、婦人会が趣向を凝した余興も出され賑わった。



婦人会30年の歩みを報告

児童手当法の 一部改正について

一 児童手当
市町村民税に係る所得割の額のない受給者に支給される児童手当の月額が昭和五十四年十月分以降算定基礎児童数一人につき六、〇〇〇円から六、五〇〇円に改正されます。

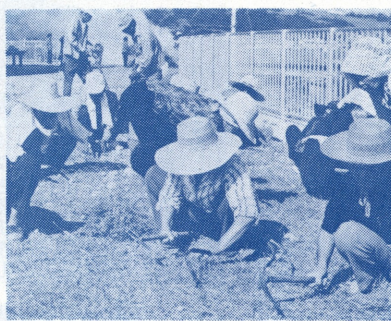
二 児童扶養手当
児童扶養手当の額が児童一人の場合月額二、五〇〇円から二、六〇〇円に児童二人の場合月額二、三〇〇円から二、八〇〇円にそれぞれ引き上げられます。（昭和五十四年八月一日実施）

三 特別児童扶養手当
特別児童扶養額が障害児につき月額一六、五〇〇円から二〇、〇〇〇円に重度障害児一人につき月額二四、八〇〇円から三〇、〇〇〇円に引き上げられます。（昭和五十四年八月一日実施）

老人クラブが 奉仕草刈り作業

町社会福祉センターでは、老人クラブ（玉那覇会会長、会員七九四名）の善意により十二月二十日午前九時から約百二十名の老人クラブ員が集まり周囲の草刈りをはじめ施設内のふき掃除を行なった。

玉那覇会会長は「私達は今後、年何回かこういう作業をやりたいですが社会福祉協議会の美化計画に従って協力したいと考えております。」と今後も継続して同種の奉仕作業をやることに意欲的だった。



仕作業をやることに意欲的だった。作業にご参加下さいました皆さん本当にご苦労様でした。

保育入所児童募集について

昭和五十五年（四月一日）保育入所希望児については、入所申請を受付けますので希望者は左記によって申込んで下さい。

◎入所申請期間
昭和五十五年一月二十一日から二月九日まで町役場福祉課で申請書の受付を行います。

◎保育所を利用される方へ
保育所は保護者がお子さんの面倒を見られなくなったとき、入所できるものであり、特定の条件を必要とします。だから学校教育を目的とする幼稚園とはその機能がちがっています。すべてのお子さんは、その家庭ですこやかに育てられるのが理想ですが、保護者が労働に従事したり病気にかかったり、その他の事情でお子さんの面倒を見られないとき、家庭にかわってお子さんの面倒をみるものとして入所する必要があります。

◎保育所へ入所できる基準
①母親がいつも外へ働きに出ているとき
②母親が家庭内でいつも子供とはなれて働いているとき（自営業、内職等）
③母親のない家庭
④母親が産後、病気、心身障害者で子供の保育ができない場合
⑤母親がいつも病人、心身障害者の看護にあたっているとき
⑥家庭の災害によるとき
前文の場合でも、その家庭に母親以外の人が児童の保育可能な場合は入所できません。

◎申込みに必要な書類
①保育入所申請書
②住民票謄本
③昭和五十四年度町民税固定資産税納税証明書
④昭和五十四年度分源泉徴収票
⑤その他添付書類
⑥母親が家庭外で働いている場合勤務証明書（職場から）
⑦母親が家庭内で働いている場合営業証明書（各市区事務担任者）

内職証明書（納品先から）
③母親が産後や病気、身体障害者の場合
④医師の診断書
⑤母親が病人や身体障害者を看護している場合
⑥医師の診断書
⑦母親が心身障害児の通学付添等をしている場合
⑧学校長の証明書等
※母親以外に祖母等がおり保育できない場合は、保育できないことを証明できるもの（医師の診断書勤務証明書等）を添付して下さい。

◎注意事項
次の場合、保育入所決定中又は、入所中であっても、退所の原因となりますので、そのようなことがないように特に注意して下さい。
①入所申請及び面接調査の際に虚偽の申告があるとき
②疾病、その他の理由により他の保育児童に悪影響及ぼすおそれがあるとき
③保育料を二ヶ月以上滞納したとき
④その他、保育の継続を不当と認めたとき
その他、詳しいことは町福祉課窓口でお尋ね下さい。

◎保育所の定員
町立

保育所名	定員
西原保育所	18
坂田保育所	34
社会福祉法人西原白百合保育園	30
愛和保育園	30
三才未満三才以上	計
	60
	90

保育所入所申請は1月21日から2月9日まで。＝町福祉課＝

平良幸市氏・地方自治功労賞 与那嶺浩氏・文部大臣賞受賞

本町では、町役場、町議会、町民館で平良幸市前知事（昭和五十四年度沖繩県功労者・地方自治功労賞）と与那嶺浩・中・町小校長（昭和五十四年度文部大臣賞）を祝う催しが開かれ、町内外から約二百五十名が集まり両氏の功労を讃えた。



名譽ある受賞に輝き、皆から祝福を受ける両氏、平良氏は長男（哲夫氏）が代理出席。

（昭和五十四年度文部大臣賞）を祝う催しが開かれ、町内外から約二百五十名が集まり両氏の功労を讃えた。席上では、平良幸市氏は平敷静男氏が、与那嶺浩氏を城間期一氏が紹介を行なった後、受賞者を代表して与那嶺浩氏があいさつした。

二代目の知事として県政を担当し、平良氏は昭和四十八年、県校長研究大会で「健康安全と体力づくりについて」を発表、四十九年、県学校保健研究大会で「保健組織と運営について」を発表、四十九年から五十四年まで県下の学校保健・安全に関する研究大会・研修会等の指導助言者となり学校保健安全の推進に尽力された。五

二十歳のみなさん 国民年金に加入しよう

二十歳のみなさん、成人おめでとうございます。老後の生活設計は、若い頃から考えておくのが賢明です。そのためには、二十歳になったのを機会に国民年金に加入しましょう。

選挙権行使できるほか、財産上の取引も自分の意思でできるなど法律上、一人前のおとなとしての扱いを受けると同時に国民年金にも加入できるようになります。

いま成人式を迎えたばかりのあなたにとって、老後の生活—年金などといっても、まだまだ遠い先の話と思われるかもしれませんが、人間だれも年をとり

20歳
スタート



せん。

昼間部の学生さんや他の公的年金制度に加入しているサラリーマンなどの奥さんは、希望すれば加入できます。

なお、厚生年金制度など職場で加入する他の公的年金に入っている人は、国民年金には加入できません。

国民年金で老後をより豊かなものに—保険料は一月三千三百円（四月から三千七百七十円）です。

国民年金の現況届

今年四月から提出期限が変わります

国民年金の老齢年金および通算老齢年金を受けている方の現況届の提出期限はこれまで毎年、二月十五日でしたが、今年の四月から年金を受けている方の「誕生日の末日」に変わります。ただし、誕生日が一月から三月の方については、今年に限り今まで同様二月十五日までです。

くわしくは、町役場におたずねください。

義援金三十五万円福祉協に贈る

町商工会がチャリティーゴルフ

生活に困っている人々にも楽しい正月を。商工会主催の第三回歳末助け合いチャリティーゴルフ大会が十二月十三、十四日の両日西原グリーンセンター（ショートコース）と沖繩カントリークラブ（ロングコース）で行なわれたがその義援金三十五万円が十二月十五日に町社会福祉協議会へ贈られた。

古波蔵商工会長が不在のため、屋良朝光副会長が町役場を訪れ、宮平吉太郎町社会福祉協議会長に義援金を手渡した。

宮平会長は「その義援金を町民

生活に困っている人々にも楽しい正月を。商工会主催の第三回歳末助け合いチャリティーゴルフ大会が十二月十三、十四日の両日西原グリーンセンター（ショートコース）と沖繩カントリークラブ（ロングコース）で行なわれたがその義援金三十五万円が十二月十五日に町社会福祉協議会へ贈られた。

チャリティー囲碁大会終る

「恵まれない人たちが明るい正月を迎えられるように」と町囲碁実行委員会（委員長・小川正元町教育長）では十二月三日に第一回歳末助け合いチャリティー囲碁大会を催し、その義援金十六万五千

飲酒運転、五難

酒酔い運転はもちろん、酒気を起こしています。飲酒運転がこわいのは、アルコールが脳に作用し、平常心を失わせ、次のような御難ならぬ「五難」に見舞われるからです。

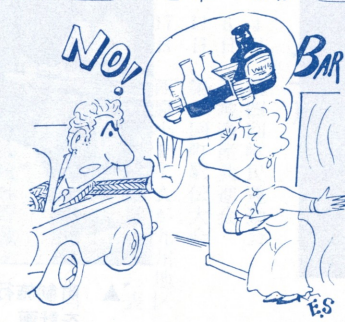
毎年全国各地で一万人以上の人が酒酔い・酒気帯び運転で交通事故「飲むな」。

1 上手に運転している
と錯覚する

2 居眠り運転をしやす
い

3 注意力が散漫になる

4 反応が遅くなる



また、同委員会では

来年の十二月初旬頃第二回目の大会を予定しており、初心者あるいは囲碁の好きな方が多数参加して下さることを期待しています。

尚、この大会の成績は次の通り

- Aクラス 三段～五段
- 優勝 平良清一（四段）
 - 準優勝 小川良夫（三段）
 - 三位 後藤文夫（三段）
- Bクラス 一級～二級
- 優勝 川満英一（二段）
 - 準優勝 石原昌雄（二段）
 - 三位 小川正元（二段）
- Cクラス 二級～五級
- 優勝 新垣泰雄（三級）
 - 準優勝 我如古清治（二級）
 - 三位 大城将男（五級）
- Dクラス 六級～九級
- 優勝 山畑清光（六級）
 - 準優勝 当間幸栄（八級）
 - 三位 城間政吉（七級）
- Eクラス 十級以下
- 優勝 小橋川勝（十級）
 - 準優勝 泉川利夫（十級）
 - 三位 郷清一（十級）

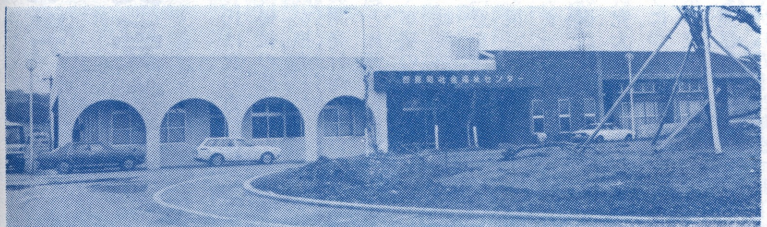
飲んだら乗るな、乗るなら飲むな。



▲ 町制施行・中央公民館・社会福祉センター落成記念式典、約600人が参加、5月26日。



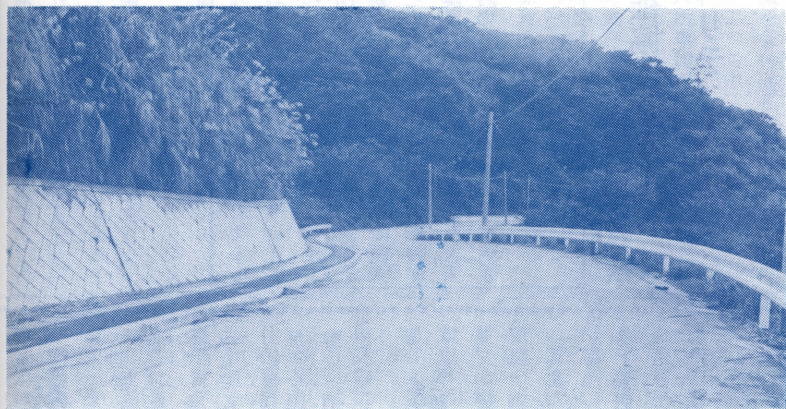
▲ 中央公民館竣工、3月31日。



▲ 社会福祉センター竣工、3月30日。



▲ 農事組合法人・南国養豚生産組合の養豚団地完成、3月20日。



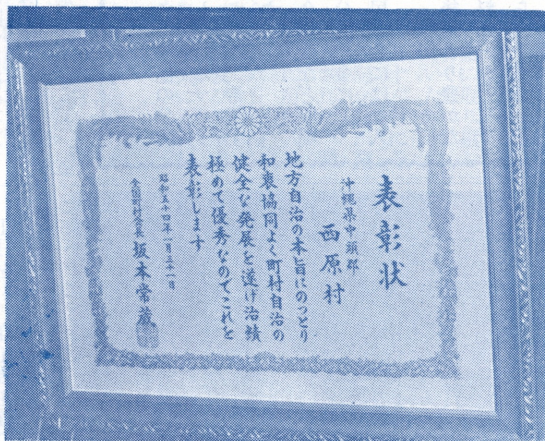
▲ 翁長〜幸地線道路改良工事竣工、3月26日。



▲ 幸地川河川災害復旧工事竣工、3月26日。

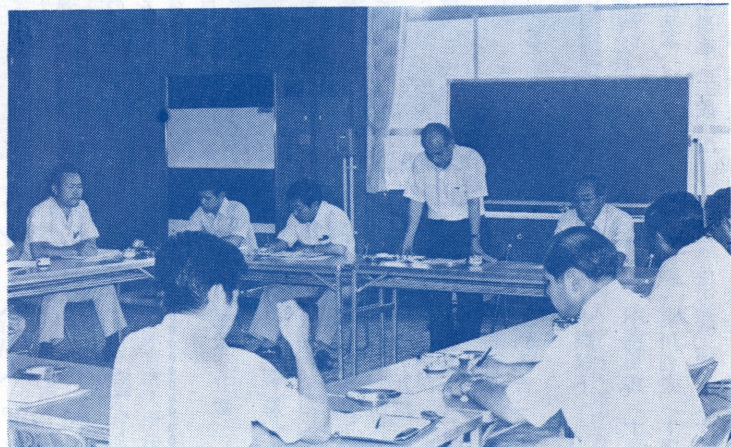


▲ 4月1日町制施行、気分も新たに西原町役場の表札を掲げる宮平町長（右）と平安助役（左）



▲ 優良町村として全国町村会から表彰を受ける。1月31日。

▶ 町指定金融機関制度が採用され、町役場出納室に女子行員が配置、4月2日から。



▲ 町制施行記念事業推進委員会が発足、総合運動公園（仮称）を計画、検討する。7月18日。

昭和五十四年の歩み

燃えるゴミと燃えないゴミは分別して出して下さい。



昭和54年は棚原、与那城、小橋川、内間などで貝塚を発見。写真は与那城の貝塚。



▲ 13世紀の類須恵器（本町字内間出土）が大城勝治さんから町中央公民館へ贈られる。6月4日。



▲ 町陸上競技大会、好記録が続出し大会新9種目出る。10月13日～14日。



▲ 西原中学校創立20周年記念式典が行なわれ記念事業期成会から視聴覚教材、楽器などが贈られる。6月30日。



▲ 第4回町民運動会、町民の健康を増進、11月4日。



▲ 町婦人主張大会、弁士7名が熱弁を振う、6月24日。

▼ 第7回西原町老人クラブ大会、趣向を凝らした余興が続出、9月22日。



▲ 全国制覇をなした西原クラブ・少年バレーボール選手団、8月20日。

昭和五十四年

昭和五十四年											
一 月											
2日	新春ソフトボール大会	5日	南石石油、第二ポンプ場 で火災事故	6日	東部消防組合出初式 スポーツ少年団バレーボ ール大会	7日	成人式	14日	水道庁舎落成記念式典 優良村として全国町村会 から表彰	20日	31日
二 月											
11日	西原村教会総会	14日	ゴミ処理施設及びし尿処 理施設の視察(区代表等)	11日	25日	24日	29日	30日			
三 月											
1日	与儀栄氏、与那城勲氏村 行政功労者表彰式	13日	28日	7日	11日	14日	15日	18日	24日	27日	
31日	社会福祉センター竣工 内間ノ小那覇線道路改良 工事竣工	26日	20日	18日	14日	15日	18日	24日	27日	28日	
四 月											
1日	西原村から西原町へ町制 施行	2日	琉大農学部・新キャンパ スに移転	2日	6日	18日	18日	26日	2日	6日	
五 月											
1日	町一般職員の人事異動	17日	壮年ソフトボール大会	17日	18日	18日	18日	26日	2日	6日	
六 月											
2日	町制施行・中央公民館・ 社会福祉センター落成記 念式典	30日	第四回町商工会通常総会	4日	17日	21日	24日	29日	30日		
七 月											
7日	西原家庭学級開級式	11日	新生活推進懇談会	14日	15日	18日	24日	27日	28日		
八 月											
2日	劇団ピッポ児童劇上演	6日	花卉生産組合総会	18日	18日	26日	2日	6日	18日	18日	
九 月											
8日	製品タンカー船英雄丸甲 板上で荷揚中の漏油事故	14日	敬老年金支給	15日	敬老の日	20日	20日	20日	20日	20日	
十 月											
1日	琉大工学部新キャンパス に移転、講義開始	5日	町畜産共進会	7日	10日	11日	13日	13日	13日	13日	
十一 月											
4日	第四回町民運動会	6日	幸地畜産共進会	11日	17日	17日	17日	17日	17日	17日	
十二 月											
3日	第一回歳末助け合いチャ リティ囲碁大会	8日	原油船アラモ号からの原 油流出事故	8日	13日	13日	13日	13日	13日	13日	
15日	翁長、獅子仕立祝賀会	16日	町婦人会三十周年記念大 会	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	
20日	老人クラブ、社会福祉セ ンターで草刈り作業	20日	町議会定例会	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	

第二回西原まつり賑う



▲ 第2回西原まつりオンパレード、中部製糖工場前

西原まつり実行委員会（宮平吉太郎委員長、町長）では、十一月二十四日と二十五日の両日、西原中学校グラウンドで町民相互の融和と住民意識の高揚を図るため、第二回西原まつりを行ない、小雨まじりの天気にもかかわらず町内外から多数の観客が訪れ賑った。

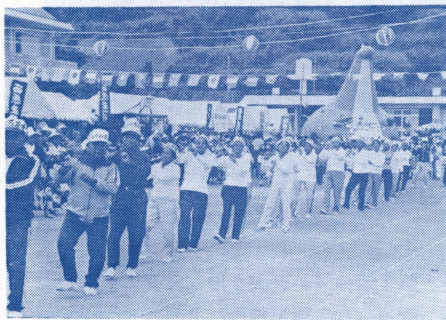
二十四日午後二時に西原小学校と西原高校の二ヶ所から西原中学校に向けて目抜通りのオンパレードが行なわれ西原まつりの火ぶたが切られた。

西原町体育館では、連日農産物のほろ賞授与式、芸能ショー、素人のど自慢大会、おどりの夕べなどが行なわれ、まつりも終了しました。

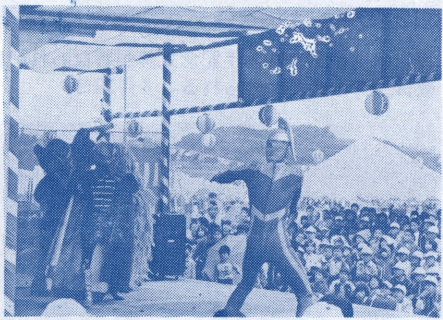
町民のご協力ありがとうございました。

また、連夜花火も打ち上げられ、暗い夜空に色とりどりの花を咲かせ壮大な景観は祭の風物として雰囲気を一層盛り上げた。

第二日は、作品展示部門など



▶ 老人の集団演技



▶ ウルトラマンも出演

青年ダンスパーティー 大盛況

十二月八日午後七時から中央公民館で町内各区青年会の親睦のため、ダンスパーティー実行委員会



▶ 見事な菊人形



（呉屋勝司ほか五名）主催の青年ダンスパーティーが開かれ約二百名の青年を集め賑った。

町内には青年連合会組織がなく青年が全町をあげてやる行事が少ない中であつてこれを機に新しい時代に即応した新しい青年会の結成が待望される。

小那覇210番地

赤崎林繁さん石碑つくる

岩に校名と開校年月を掘り込んだ見事な石碑が完成した。

赤崎さんは娘の担任の平良先生からすすめられたこともあり、石大工の経験を生かして作ることを



▶ 開校記念の石碑と赤崎さん

字小那覇二一 決意した。

○番地の赤崎林繁さん（六二）は、十一月三日から長女・由美さん（小学校五年生12才）が訪問教育で世話になっている県立島尻養護学校（東風平町字友寄在）金城順亮校長）の開校記念の石碑をつくっていたが十二月十五日幅三・四尺、高さ二・二尺、厚さ一・四尺、重量約十七ポンドの本部石灰岩に校名と開校年月を掘り込んだ見事な石碑が完成した。

赤崎さんは娘の担任の平良先生からすすめられたこともあり、石大工の経験を生かして作ることを

西原三位に輝く

中頭郡青年駅伝大会

十一月二十五日に行なわれた中頭郡青年団協議会主催の第十七回中頭郡青年駅伝大会で本町代表は八〇・四キロメートル十区間を四十五分三秒で区間賞を獲得したほか

西原小PTAが優良団体で表彰

九州地区PTA研究大会

十一月十六と十七日に鹿児島市で開かれた九州地区PTA研究大会で本町の西原小学校PTA（宮平昌信会長）がこれまでの活動成果が高く評価され、九州地区PTA連絡協議会から優良



▶ 宮里選手から平良選手へバトンタッチ西原中学校前

「家庭の日」

作文募集要綱

- ※ 主催 沖縄県青少年育成県民会議
- ※ 応募要領 (1) 小学生・中学生・高校生その他どなたでも応募できます。
- (2) 作文は原稿用紙5枚以内で
- (3) 作文は未発表のもの。
- (4) 「家庭の日」、「わたしの家庭（家族）」、「家族の話し合い、約束」「家族旅行」等家庭のこと、家族のこと、家庭のよろこび、希望、なやみ等をつづつたものであればよくテーマは自由。
- (5) 在学中の者は、学校名・学年組・氏名を、一般の方は住所氏名を明記。
- (6) 締切日は昭和五十五年二月九日（土）。

※ 表彰等 応募作品について、最優秀賞（知事賞）優秀賞（県民会議会長賞）奨励賞（県民会議会長賞）を選定して表彰。

※ 作品送付先

〒900 那覇市泉崎一丁目三三（県第二庁舎内）
沖縄県青少年育成県民会議事務局

第2回 西原まつり 展示物入賞者

農産物の部

【優秀賞】奥浜真一（我謝）、小橋川貞吉（我謝）、呉屋良子（小波津）、中谷ヤス子（嘉手苅）
【入賞】仲宗根ヨシ（幸地）、宮平正保（我謝）、与那嶺太郎（小波津）、島袋宗盛（池田）、宮平カミ（我謝）、翁長三郎（幸地）、翁長千代（幸地）、与那嶺トミ（幸地）、与那嶺太郎（小波津）、奥浜真一（我謝）、久高友秀（上原）、与那嶺キヨ（幸地）、小橋川次郎（我謝）、稲福春子（幸地）、城間正義（幸地）、具志堅興善（池田）、野国昌象（池田）、大城英光（小橋川）、新垣良吉（我謝）、屋良朝信（上原）、稲福恭仁（上原）

農産加工品の部

【優秀賞】小波津政子（小波津）、沢和子（幸地）、呉屋初子（呉屋）、桃原トシ（与那城）
【入賞】桃原トシ（与那城）、与那嶺あき子（幸地）、喜屋武初子（池田）、城間美代子（兼久）、前城イコ子（幸地）、呉屋光子（小波津）、外間重子（幸地）、内藤貞代（幸地）、沢和子（幸地）、小波津千代子（幸地）、小波津要子（あやめグループ）西原厚子（棚原）呉屋節子（呉屋）与那嶺キヨ（幸地）仲宗根正助（幸地）花城ナ（与那城）城間洋子（棚原）仲宗根政子（幸地）小波津キク（小波津）比嘉千代（幸地）伊波静子（棚原）桃原トシ（与那城）翁長綾子（幸地）与那嶺政子（幸地）屋良オト（上原）与那嶺勝（幸地）

手芸品の部

【優秀賞】呉屋光子（小波津）花城秀子（兼久）比嘉志四（棚原）
【入賞】与那嶺厚子（幸地）与那嶺和子（幸地）玉城俊子（与那城）城間利江子（安室）与那嶺和子（幸地）我謝豊子（兼久）金城英子（小波津）島袋房子（翁長）山城和子（坂田ハイツ）与那城絹子（安室）

花 卉 園 芸 の 部

【優秀賞】外間久一（兼久）小波津正雄（安室）弓削次男（掛保久）
【入賞】宮平定昌（与那城）小波津正雄（安室）弓削次男（掛保久）玉城常信（小波津団地）与那嶺勲（津花波）外間久一（兼久）新城良一（与那城）

老人クラブ作品の部

【入賞】宮平牛（我謝）宮平ツル（桃原）花城シズ（我謝）宮里カメ（棚原）呉屋ツル（小波津）宮平カメ（与那城）石原ウシ（我謝）山本亀一（幸地）新垣松三（幸地）宮里カナ（棚原）桑江カナ（与那城）和宇慶敏子（呉屋）与那城勲（安室）大浜静（兼久）宮良澄（坂田ハイツ）城間ウシ（我謝）宮平清子（兼久）金城澄（安室）与議ツル（我謝）宮平ツル（我謝）

写真の部

【金賞】我謝孟信（小橋川）与古田光助（与那城）新垣貞正（翁長）
【銀賞】与古田光助（与那城）喜屋武哲治（我謝）喜納昌春（小那）

副賞

【努力賞】大城助徳（小橋川）
さとうきび多量生産農家の部
新川善太郎（小那覇）呉屋正光（小波津）花城三郎（与那城）呉屋盛昌（津花波）与那嶺喜一（津花波）
反収優秀農家の部
与儀栄（津花波）花城仙三（与那城）玉那覇正之（我謝）米須朝保（与那城）小波津善栄（小波津）
野菜生産優良農家の部
奥浜真一（我謝）具志堅興善（池田）
花卉生産優良農家の部
新垣盛吉（兼久）
畜産経営優良農家の部
養豚の部
安座間喜永（森川）許田盛徳（城間敏夫（我謝）
畜牛の部
外間武次（幸地）与那嶺次郎（与那城）

作文の部

【金賞】喜友名綾子
【銀賞】上江洲由美子、米富睦子
【銅賞】波照間永樹、中村みどり
波照間美香
【入選】仲村俊乃、城間めぐみ、城間綾子、屋良朝次
中学校二年
【金賞】新川千賀子、小橋川末美
【銀賞】喜納晶子、武村美加子、与那嶺一枝

図画の部

小学校一年
【金賞】いしはらたかし（西原）
【銀賞】くたかあやこ（坂田）
【銅賞】たかやまあきら（西原）
よなみなまさと（西原）しろませいじん（坂田）
【入選】きんまざのり（西原）
やましろゆたか（西原）きんじょうのりこ（坂田）あらかきたくみ（坂田）
小学校二年
【金賞】ひがたつや（西原）
【銀賞】とみはらひでと（西原）
ほかまりえ（坂田）
【銅賞】てるきなひで（西原）

中学校三年

【銅賞】我那覇由美子、崎原みちよ
【入選】金城秋男、小波津綾子、園田淳美
【入選】屋良一夫、大城盛博、安座間尚、弓削功、安慶名賢、小橋川泉、作山美樹、宮城暢子、新垣桂子、比嘉寿代
高 校
【特別出品】新川美千代（二年）
【金賞】宮平恵（二年）
【銀賞】新里慶子（一年）玉寄盛昌（三年）
【銅賞】小橋川健次（三年）石川五十美（三年）新川礼子（三年）
【入選】桃原理恵（二年）平良善則（三年）多和田智子（二年）新里尚子（一年）

小学校三年

【金賞】山盛真吾（坂田）
【銀賞】屋比久孝（西原）金城剛司（坂田）
【銅賞】新垣勝也（西原）西原淳（坂田）てるきなしん子（西原）
【入選】外間敬康（西原）知念さや子（西原）安座間享（坂田）与那嶺耕一郎（西原）

小学校四年

【金賞】城間清美（西原）
【銀賞】与那城享（西原）泉川寛秀（西原）
【銅賞】糸数聡（西原）末吉直樹（西原）上原司（坂田）
【入選】呉屋悟（西原）

小学校五年

【金賞】与儀尚司（西原）
【銀賞】米富慎也（坂田）山内理香（西原）
【銅賞】漢那康（坂田）比嘉恵子（西原）宮里健（坂田）
【入選】玉那覇裕夫（西原）上原伸元（西原）前森裕人（坂田）

小学校六年

【金賞】伊敷哲也（坂田）
【銀賞】伊波八重子（坂田）新川尚美（西原）
【銅賞】呉屋恵三（西原）外間美智子（西原）島田純（坂田）
【入選】平良智紀（坂田）宮平美奈子（西原）新川美奈子（西原）玉那覇和美（西原）

高 校

【金賞】仲本昌幸（三年）新川千都世（二年）
【銀賞】新垣守正（二年）山川文雄（二年）

ポスターの部

【銅賞】山里慎三（二年）多和田智子（二年）石原昌司（二年）
【入選】与那思（二年）新里吉彦（二年）嘉数愛子（二年）新垣偏子（二年）

美術の部（高校）

【金賞】新里尚子（一年）
【銀賞】宮平孝子（二年）名嘉元繁美（二年）
【銅賞】新垣栄之（一年）小波津英勝（二年）宮平真智子（一年）
【入選】城間裕美（一年）伊波秋夫（一年）小橋川ひろみ（一年）喜屋武ひろみ（一年）

工 作 の 部

小学校一年

【金賞】いれいたつろう（西原）
【銀賞】ごやもとあき（西原）みやひらこや（坂田）
【銅賞】ぐしりょう子（西原）
きんじょうけんじ
まじき いさお
こはつ ちかし
こはつ のりあき
のむらひろき（西原）
【入選】うんてんなおみ、おがわまもる、こめすきよひこ、しろまつや、共同製作（西原）、へんとなまきみつ（西原）いなふくけんく（坂田）ひがしおなみさき（坂田）

小学校四年

【金賞】仲宗根健作（坂田）
【銀賞】赤嶺靖（西原）石垣恭一郎（坂田）
【銅賞】賀数多津子（西原）仲本雅俊（西原）中村宏二（坂田）
【入選】米田幸三（西原）新川高弘（西原）小川靖（西原）玉那覇美幸（西原）幸地りえ（西原）前田りつ子（西原）崎原君栄（西原）小波津やよい（西原）新垣学（西原）名幸栄治（西原）崎原真理子（西原）小川秀樹（西原）新川江利子（西原）宮里ユミ（坂田）比嘉智博（坂田）川端未知（坂田）糸数直也（坂田）小渡良美（西原）大城きよ美（西原）

【銅賞】なかやまあきひろ（西原）あさとつかさ（西原）さくたともあき（坂田）
【入選】やまかわゆたか（西原）しろまじゅうさく（西原）たまなはみか（西原）おおしろひとし（西原）のそこなおみ（西原）あらかわともし（西原）こうちじゅん（西原）おがわまさや（西原）なかそねけんえい（坂田）たまむらともこ（坂田）

小学校三年

【金賞】新川健次（西原）
【銀賞】与那嶺学（坂田）玉那覇和幸（西原）
【銅賞】城間清美（坂田）与那嶺春介（西原）田島やよい（坂田）
【入選】城間健（西原）具志堅典子（西原）西原昌和（西原）新川まさき（西原）玉那覇はじめ（西原）城間則子（坂田）浜川笑理子（坂田）糸数国浩（坂田）宮里睦子（坂田）与那嶺紀子（坂田）

小学校五年

【金賞】与儀高志(西原)
【銀賞】城間栄真(坂田) 具志堅
みどり(西原)
【銅賞】上原伸元(西原) 具志堅
みどり(西原) 大城きよみ(坂田)
【入選】呉屋徹(西原) 儀間園子
(西原) 山城和江(西原) 比嘉直
美(西原) 宮平知子(西原) 城間
ゆかり(西原) 宮平聖子(西原)
平良美香(西原) 新川いお(西
原) 仲尾美也子(西原) 新里健
(坂田) 赤嶺幸子(坂田) 西原清
美(坂田) 西表志保(坂田) 比嘉
末美(坂田) 城間とき子(坂田)
城間かおり(坂田)

小学校六年

【金賞】当間貴嗣(坂田)
【銀賞】喜屋武修(西原) 新川尚
美(西原)
【銅賞】小波津学(西原) 玉那覇
苗子(西原) 大城宏樹(坂田)
【入選】奥平良昭(西原) 上地安
親(西原) 崎浜幸祐(西原) 与那
城惣(西原) 仲本直美(西原) 玉
那覇千代(西原) 小橋川幸恵(西原)
大兼ゆかり(西原) 外間美智子
(西原) 玉那覇智子(坂田) 仲田
清美(坂田) 渡嘉敷進(坂田) 翁
長正一郎(坂田)

中学校二年

【金賞】宮里淳
【銀賞】新川秀安、山城隆一
【銅賞】宮平恵子、石原昌克、崎
原みち代
【入選】宮里淳志、伊礼尚美、松
原たけし、宮里あゆみ、与那嶺勇
屋宜綱代、宮平敬三、宮平勝、喜
屋武絹代、与那嶺敦、玉城修、安
谷屋末子、島袋しげみ、小波津さ
とみ、野村真里合、新垣朋子、宮
平栄、石原悟、具志堅和美、与那
嶺尚美、新垣ちえみ、喜納晶子、
呉屋もりやす、鉄本洋一、仲村文
枝、金城直美、宮城操、新川綾、
仲嶺智美、大城秀和、儀間たもつ

中学校三年

安里智子、仲宗根一彦、仲間美和
岸本契登、稲福恭代、棚原盛秀、
宮平友江、仲村ゆき、新川千賀子
与那嶺進、小川真貴子

小学校三年

【金賞】大城和江子
【銀賞】仲宗根尚子、安座間善雄
【銅賞】伊礼健、稲福百合子
【入選】小川正輝、外間武則、長
堂三香子、弓削功、与那嶺夫子、
比嘉寿代、城間広美、小渡かおり
仲松澄子、新地義宏、崎山信勝、
城間盛安、瀬長和子、金城広文、玉
那覇孝、仲宗根良美、屋嘉比智直
玉城つよし、喜屋武弘一、屋良一
夫、我謝清美、平良ひとし、外間
忠彦、中山義浩、大城和則、当真
民子、与那嶺聡、翁長三枝子、与
那嶺貴子、渡久地浩、小橋川進、佐
久川西、大城ゆかり、田場美智子、
兼島裕、安里昌明、仲宗根好美、
与儀奈美子、玉城千恵子、島袋光
弘、新垣智一与那嶺モニカ、宮城
和美、城間さえ子、比嘉勇、喜屋
武幸子、具志堅直美、新垣昌代、
大城一広、宮平昌則、玉那覇達
彦、諸見里安知

小学校四年

【金賞】山もりしんご(坂田)
【銀賞】豊里直次(坂田) よなは
いそ子(坂田)
【銅賞】宇栄原雅恵(西原) あさ
とかずみ(西原) 新川健次(西原)
【入選】仲間めぐみ(坂田) やま
のはろ子(坂田) 宮平貴子(坂
田) 新垣美恵子(坂田)

小学校五年

【金賞】城間俊彰(西原)
【銀賞】大城勝(西原) 佐久本一
郎(坂田)
【銅賞】新垣尚子(西原) 銘刈由
佳(坂田) 玉得かおり(坂田)
【入選】宮良賢詠(坂田) 小橋川
成美(西原) 中山幸代(西原) 安
里匡(西原)

小学校六年

【金賞】大嶺浩次(西原)
【銀賞】崎原弥生(西原) 玉城佳
代子(坂田)
【銅賞】新垣雄三(西原) 波照間
永子(坂田) 赤嶺玲子(坂田)
【入選】与那嶺優子(西原) 嘉陽
正晃(西原) 中村牧子(西原) 我
那覇早苗(坂田小)
【金賞】玉村優子(坂田) 山盛尚
子(坂田) 宮良なが子(坂田) 城
間勝江(坂田)
【銀賞】山入端領子(西原) 新川
久子(西原)
【銅賞】なし
【入選】新垣優子(西原) 由浅典
子(西原) 安里昌己(西原) 高江
洲秀子(西原)

中校学一年

【銀賞】玉村とも子(坂田) うえ
まみどり(西原)
【銅賞】友利てつや(西原) くだ
みちこ(坂田)
【入選】ひがかつひこ(西原) い
はやすとし(西原) いさとみこ
(坂田) あさまのりこ(坂田)

中学校二年

【金賞】奥間史子
【銀賞】玉村典子、山城隆一
【銅賞】崎原みち代、伊地秀男、
鶴里由美子
【入選】新垣豊

中学校三年

【金賞】宮城暢子
【銀賞】上原恵、城間満枝
【銅賞】外間幸代

高校二年

【金賞】新里悟(西原)
【銀賞】玉城克(西原)
【銅賞】金城清智(西原)
【入選】仲里昌幸(西原) 大城栄
作(西原) 宮平智也

小学校一年

【金賞】しろませいじん(坂田)
【銀賞】まつかわみのり(西原)
みやひろわこ(西原)
【銅賞】のはろよしあき、太田き
いこ(坂田) きゆうなじゅんこ
(坂田)
【入選】かようたかし(西原) 山
田ひろゆき(西原) ちねるみこ
(西原)

小学校二年

【金賞】奥間公子(坂田) 玉村優
子(坂田)
【銀賞】儀間真哉(西原) 宮城朋
代(西原)
【銅賞】金城千登勢(西原) 宮平
智(西原)
【入選】大城一(西原) 田里雅音
(西原)

小学校三年

【銀賞】翁長洋子(西原) いなふ
くみなこ(坂田) 新垣直哉(坂田)
【銅賞】与那嶺正(西原) 東迎あ
ゆみ(西原)
【入選】真謝康之(西原) しまさ
えゆき(西原) 石原昌和(西原)
長嶺和弥(坂田) 真栄田義康(坂
田)

小学校四年

【金賞】新里悟(西原)
【銀賞】玉城克(西原)
【銅賞】金城清智(西原)
【入選】仲里昌幸(西原) 大城栄
作(西原) 宮平智也

小学校五年

【銀賞】安里安彦(西原) 玉城佳
代子(西原) 赤嶺玲子(西原)
【銅賞】小橋川秀一(西原) 波照
間永子(坂田) 島袋まゆみ(西原)
【入選】我那覇真弓(坂田) 仲尾
美也子(西原) 呉屋勝彦(西原)
名幸芳昌(西原)

小学校六年

【金賞】奥間公子(坂田) 玉村優
子(坂田)
【銀賞】儀間真哉(西原) 宮城朋
代(西原)
【銅賞】金城千登勢(西原) 宮平
智(西原)
【入選】大城一(西原) 田里雅音
(西原)

手芸の部

小学校三年

【金賞】与那嶺紀子(坂田)
【銀賞】浜川笑理子(坂田) 糸数
国浩(坂田)
【銅賞】城間則子(坂田)

小学校四年

【金賞】比嘉智博(坂田)
【銀賞】川端未知(坂田) 崎原真
理子(西原)
【銅賞】玉那覇美幸(西原) 崎原
君栄(西原) 宮里ユミ(坂田)
【入選】前田りつ子(西原)

小学校五年

【金賞】城間ゆかり(西原)
【銀賞】赤嶺幸子(坂田) 平良美
香(西原)
【銅賞】城間とき子(西原) 山城
かずえ(西原) 西表志保(坂田)
【入選】比嘉末美(坂田) 西原清
美(坂田) 仲尾美也子(西原)
宮良聖子(西原) 宮平知子(西
原) 比嘉直美(西原) 儀間園子
(西原) 城間かおり(坂田)

小学校六年

【金賞】与那覇智子(坂田)
【銀賞】仲田清美(坂田)

習 意 毎日の生活体験を通して

どうすれば、子供が自分から進んで勉強するようになるか、お母さん方にとっては悩みのタネでしょう。

知識や技術などは、教えることによって、ある程度は身につけさせることができますが、勉強する、しないの問題は「意欲」つまり「やる気」にかかわることです。から、行儀作法をしつけるようにはいきません。

「やる気」は、本人の心の中に燃え上がる欲求です。お母さんが口ぐせのように「さあ勉強、勉強」「ホレホレ」「サッサ」などと言いつつ、子供は本気で勉強に打ち込むようになるとは限りません。

要は、どのようにして子供に「やる気」を起こさせるか、どうしたら学習意欲を燃やしてくれるかということです。

そこで、心得ておかなければならないのは、勉強に対する「やる気」をかけるのは効果的ではないように思えます。

勉強以外のことは無関心で、勉強のときだけ口やましくハッパをかけるのは効果的ではないように思えます。

勉強に適した性格といってもいいかもしれませんが、少なくとも、物事を「きちんとする」「すすんでする」「根気よくする」といった特性をあげることができそうです。

この「きちんと・すすんで・根気よく」物事をする性格は、毎日の勉強から身につくというより、むしろ日常生活の中で習慣化され、形成されていくことが多いといえます。

お母さんのお手伝い、遊び友達との交流などを通して、ふだんから「きちんと・すすんで・根気よく」やりとげる習慣を身につけさせ、物事をやりとげた感動を味わわせることが大切です。

勉強以外のことは無関心で、勉強のときだけ口やましくハッパをかけるのは効果的ではないように思えます。